

地方小委員会の概要と意見

北海道地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和7年3月10日（月）15:00～16:30

□場所

札幌第1合同庁舎 2階講堂

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
ありむら みきはる 有村 幹治	室蘭工業大学大学院 教授	○
おかだ みやこ 岡田 美弥子	北海道大学大学院 教授	
かとう まなみ 加藤 真奈美	北海道防災教育アドバイザー	○
かとう ゆきこ 加藤 由紀子	前北海商科大学 教授	○
【委員長】 きし くにひろ 岸 邦宏	北海道大学大学院 教授	○
くぼ としゆき 久保 俊幸	北海道商工会議所連合会 副会頭	○
しまもと かずあき 島本 和明	日本医療大学 総長	○

（敬称略、五十音順）

□対象事業

- ・一般国道44号（北海道横断自動車道）別保尾幌道路
- ・一般国道36号 白老西拡幅

□議事概要（各委員からの意見）

【共通】

- ・他の路線も含めて一般国道や高規格道路の4車線化により、規制速度を上げる検討をしていくべき。
- ・レンタカーを利用して旅行する、外国人や雪に慣れていない地域の観光客のためにも走行面において不安の無い道路が必要。
- ・時間信頼性向上は、特に観光で使われる道路において旅行のスケジュールが見えてくるため重要。

【一般国道44号（北海道横断自動車道）別保尾幌道路】

- ・浜中町と厚岸町を高次医療施設のある釧路市に繋ぐ重要な道路。

- ・旅行者は、大規模災害時の避難ルートを想定しにくいいため、旅行者に対する避難ルートのアナウンスや、それに対する様々なルートがあることが重要。

【一般国道36号 白老西拡幅】

- ・救急搬送で使われる道路であり、対象区間で速度が低下しているため、2車線区間が残らないように、4車線化整備をすることが必要。
- ・観光期に大渋滞が発生しており、早期に4車線化整備をすることが必要。
- ・災害時に高規格道路と連携し復旧・復興の段階で寄与する道路であるため、4車線化整備は必要。

□結論

一般国道44号（北海道横断自動車道）別保尾幌道路

一般国道36号 白老西拡幅

の新規事業化については妥当である。

東北地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和7年3月10日（月）11:00～12:00

□場所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 13階 水災害予防センター

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
井岡 佳代子	東北学院大学 経営学部 准教授	○
小笠原 孝史	一般社団法人 東北経済連合会 専務理事	○
葛西 誠	秋田工業高等専門学校 土木・建築系空間デザインコース 准教授	○
菊池 輝	東北工業大学 工学部都市マネジメント学科 教授	○
宮原 育子	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授	
吉田 朗	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 教授	○
若菜 千穂	NPO法人 いわて地域づくり支援センター 常務理事	○

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道 13号 横手北道路
- 一般国道112号 山形南道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道 13号 横手北道路】

- 冬期に特有の課題がある箇所について、今回から参考値として、走行時間信頼性向上の便益も含めて評価していることは理解している。しかし、年間を通しての評価であることから、期待する効果が数値に表れていないように感じる。したがって、東北地方のように冬期の交通障害が著しい所は、冬期の効果に絞って分析することで、より適切な評価が出来ないか検討いただきたい。

【一般国道112号 山形南道路】

- 都市計画手続きにおいて、地元から盛土構造について意見があったと思うので、今後、検討を進める際は、地元の意見についても考慮しながら進めていただきたい。

【多様な効果の評価】

- B/Cは参考値を見ても都心部が大きく出ている。気を付けなければならないことは、既存の評価手法では都心部が優遇されてしまうということである。是非とも地方部も評価されるような多様な効果の評価検討をお願いしたい。

□結論

一般国道 13号 横手北道路
一般国道112号 山形南道路

の新規事業化については妥当である。

中部地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和7年3月11日（火）14:00～16:00

□場所

中部地方整備局 3階共用大会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
かとう よしと 加藤 義人	岐阜大学工学部 客員教授	○
【委員長】 くらうち ふみだか 倉内 文孝	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授	○
さとう くみ 佐藤 久美	名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授	○
すずき こうじ 鈴木 弘司	名古屋工業大学社会工学教育環境都市分野 教授	○
なかむら かずき 中村 一樹	名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 教授	○
ねもと けいじ 根本 恵司	(一社) 中部経済連合会 常務理事	
まつお なおこ 松尾 奈緒子	三重大学大学院生物資源学研究科 准教授	○
みちばやし かつよし 道林 克禎	名古屋大学大学院環境学研究科 教授	
やまだ えり 山田 恵里	名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 准教授	

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道22号 名岐道路（一宮～一宮木曾川）

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道22号 名岐道路（一宮～一宮木曾川）】

- 名岐道路（一宮～一宮木曾川）は、名古屋と岐阜地域を最短で結び、なおかつ、時間信頼性が非常に高くなるネットワークが構築され、渋滞緩和にも非常に期待できる。
- 航空宇宙産業等の地域経済の発展や観光地へのアクセス向上といふ大きな効果が期待できる。
- 名岐道路と愛知県道高速清須一宮線の連続利用が見込まれることから、交通利用に関わるネットワークの連続性の観点から、一体評価区間（清洲JCT～岐南IC）の設定については妥当である。
- 当該地域は、渋滞により所要時間のばらつきが発生していることから、本道路にとって時間信頼性について評価することは重要である。

□結論

一般国道22号 名岐道路（一宮～一宮木曾川）

の新規事業化については妥当である。

九州地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和7年3月11日（火）10:00～11:50

□場所

九州地方整備局（福岡第二合同庁舎）2階共用第2・第3会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いしばし ともや 石橋 知也	長崎大学大学院 工学研究科 准教授	○
おおaura けいこ 大浦 敬子	株式会社 おとなの学校 代表取締役 一般社団法人 九州経済連合会 理事	○
かた た え ゆ か 片田江 由佳	福岡地域戦略推進協議会 ディレクター	○
ささがわ みちこ 笹川 理子	弁護士法人 笹川法律事務所 弁護士	○
しまもと ひろし 嶋本 寛	宮崎大学 工学教育研究部 工学科 准教授	○
てらまち けんいち 寺町 賢一	九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 教授	○
と た じゅんいちろう 戸田 順一郎	西南学院大学 商学部 商学科 教授	○
ひめの ゆか 姫野 由香	大分大学 理工学部 理工学科 准教授	
まつなが ちあき 松永 千晶	福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授	○
まるやま たくや 円山 琢也	熊本大学大学院 先端科学研究部 教授	○

□対象事業

- 一般国道201号 みやこ行橋バイパス
- 一般国道57号 熊本環状連絡道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道201号 みやこ行橋バイパス】

- 周辺が既に事業化し、事業が進んでいるのに対して、本区間のみ2車線区間が残っているため、事業により交通渋滞の緩和につながるもの。また、整備により交通事故の減少が期待され、円滑で安全な道路ネットワークの構築に役立つとともに、産業拠点や港湾、救急医療施設等へのアクセス向上、地域の産業活動の活性化等にも役に立つ道路である。

【一般国道57号 熊本環状連絡道路】

- 熊本市中心部は渋滞が激しいため、短期的な対策も含めて、渋滞対策が喫緊の課題である。
- 熊本環状連絡道路は大切な骨格道路であり、渋滞緩和につながるもの。また、半導体企業等の立地が進む熊本県をさらに発展させるためにも非常に重要であり、日本の経済安全保障に貢献し、速達性・高速性・定時性の向上により、救急医療活動や観光産業の活性化の支援にもつながる道路であることから、これまで以上に早急な整備が必要である。

【多様な便益・その他多様な効果】

- 道路の持つ効果は、地域産業の支援や雇用創出、救急医療活動の支援等、多様なものであり、それらの効果を貨幣換算し、参考値として示していくことは、あるべき道路事業の評価の姿に向けて一歩前進したと考える。

□結論

一般国道201号 みやこ行橋バイパス
一般国道57号 熊本環状連絡道路
の新規事業化については妥当である。

沖縄地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和7年3月10日（月）10:00～12:00

□場所

沖縄総合事務局 2階 災害対策室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
あらかき ゆうじ 新垣 裕治	名桜大学 国際学群 教授	
かみや だいすけ 神谷 大介	琉球大学 工学部 准教授	○
くだか まり	ラジオパーソナリティ	
しもざと てつひろ 下里 哲弘	琉球大学 工学部 教授	○
みやぎ かずひろ 宮城 和宏	沖縄国際大学 経済学部 教授	○
みやくに えりこ 宮国 英理子	りゅうぎん総合研究所 常務取締役調査研究部長	○
みやくに かおるこ 宮国 薫子	琉球大学 国祭地域創造部 准教授	○

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道58号 宜野湾道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道58号 宜野湾道路】

- 沖縄県が計画している宜野湾横断道路計画とも今後十分調整を図って頂きたい。
- 沿道施設からの景観について、今後関係者へ丁寧にご説明して頂きたい。
- 当該区間は非常に渋滞が激しいため、工事期間中の渋滞対策を行いながら工事を進めてほしい。
- 琉球大学病院が西普天間へ移転されたことにより、今後も交通量が増え、更なる渋滞が予想されることから、宜野湾道路の早期着工、早期整備が求められると考える。
- 昨年4月の台湾東部沖地震の際、沖縄西海岸道路への避難階段の活用がなされていた。宜野湾道路でも同様に緊急時の活用をご検討頂きたい。

□結論

一般国道58号 宜野湾道路

の新規事業化については妥当である。